

第65回地震火山観測研究計画部会でいただいたご 意見について



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

いただいたご意見と対応方針案（方針案について。前回資料 1 – 1）

・「重要あるいは社会的影響の大きな地震・火山噴火現象に関する観測研究の成果」について、全ての内容を補足資料とするのではなく、概要を本体に記載すべき。場所はⅡ章とⅢ章の間、もしくはⅢ章に節を新設することでどうか。

→概要を本体に記載いたしますが、記載場所について以下の2案を提案いたします。

- （1）新しく章を追加し、新Ⅲ章「この5年間に発生した重要な地震及び火山現象」に概要を記載。詳細な成果は、新Ⅳ章第1節「観測研究の成果と課題」、第2節「研究を推進するための体制の整備状況と課題」に記載。（本日の資料2-1の構成案その1に対応）
- （2）Ⅲ章新第1節に「この5年間に発生した重要な地震及び火山現象」を追加し、概要を記載。詳細な成果は、Ⅲ章新第2節「観測研究の成果と課題」、Ⅲ章新第3節「研究を推進するための体制の整備状況と課題」に記載。（本日の資料2-1の構成案その2に対応）

※いずれも、詳細レビュー（補足資料）A2に、地震・火山現象の概要と得られた成果を記載。

・前回レビュー報告書では、建議計画の位置づけを外部評価委員に理解いただくことが難しかった。図を加えるなどできないか。

→建議計画の位置づけに関する部分も含め、分量が多くならないように留意しつつ、レビュー本体、補足資料に図を加える。

・外部評価用にレビュー報告書とは別に、自己点検評価については、星取表のようなものを作れないか。

→今後のレビュー報告書の執筆内容を踏まえ、検討する。

・参考資料が火山に偏っており、バランスが悪い。

→以下の3つを提案いたします。

- (1) 前建議レビュー報告書の参考資料において、地震関係観測点は、位置情報が無いため、「1. 地震関係観測点数一覧」に加え、地震調査研究推進本部とりまとめの配置図を掲載する。参考資料の項目としては、「2. 地震関係観測項目毎の分布図」とする。
- (2) 火山の観測点に関する参考資料の項目としては、「各機関の常時観測項目と観測点数(火山)」とまとめる。
- (3) 対象期間内の地震予知連絡会の開催実績(開催日、重要検討課題のタイトル等)を追加する。(調整中)

・火山噴火予知連絡会の活動経過は、現行建議計画の期間中は予知連絡会が存続していたため、引き続き掲載すべきではないか。

→「Ⅲ.これまでの成果と課題 2. 研究を推進するための体制の整備状況と課題」もしくは「詳細レビュー(補足資料)A1. 6. 研究を推進するための体制の整備」に火山噴火予知連絡会の終了の記載を行うため、前建議計画レビュー報告書の参考資料と同程度の資料を作成する。